

近代英語協会第37回大会 (Web 会議)

日時：2020年8月24日(月) — 9月2日(水)

会長挨拶

● 関西外国語大学教授 中村不二夫

シンポジウム 《次年度大会に持ち越し》

「周辺表現はどのように英語標準化時代を生き抜いたのか—3つの事例から考える—」

司会

明治大学教授 柴崎礼士郎

講師 「語源的綴字の英語史上の意義を再検討する—初期中英語から現代英語まで」

慶應義塾大学教授 堀田隆一

講師 「適者生存?—二重最上級 bestest と worstest から考察する近現代英語」

明治大学教授 柴崎礼士郎

講師 「近代英語における近接未来表現の出現と拡大」

関西学院大学助教 渡辺拓人

研究発表

第一部

1. 「let go (of) NP における of の義務的出現について」

● ■ 日本大学大学院生 村岡宗一郎

2. 「所有格主語動名詞の存続と混合動名詞の消失についての—考察」

● ■ 名古屋大学大学院生 平田拓也

3. 「Get 受動文における by 句について」

● ■ 名古屋大学大学院生 森 敏郎
中部大学助教 田中祐太

第二部

1. 「Voltaire の英語における関係代名詞の用法について」

● ■ 神戸市外国語大学非常勤講師 今井康貴

2. 「現在時制と小説—過去時制語りから現在時制語りへ—」

● ■ 広島大学助教 重松恵梨

3. 「19世紀における動詞 allege の助動詞化」

● ■ 青山学院大学教授 中澤和夫

特別講演 《次年度大会に持ち越し》

講師 “Ongoing change in Modern English: new language, new corpora, new concepts”

Professor Christian Mair, Freiburg University (Germany)

閉会の辞

● 事務局長 愛知学院大学教授 前田 満